



台風・低気圧の通過に備えて 施設の点検を行いましょう！

・被覆が破れている箇所はありませんか？

破れている箇所があるとそこから風が吹き込み、被覆材の被害が広がるだけでなくパイプのゆがみや基礎の浮き上がりなど、影響が大きくなることがあります。

・被覆スプリングは外れていませんか？

被覆スプリングが外れていると、その部分の被覆に風によるバタツキが発生し、やぶれの原因になります。

・マイカー線の張りにゆるみはありませんか？ 受け材は外れていませんか？

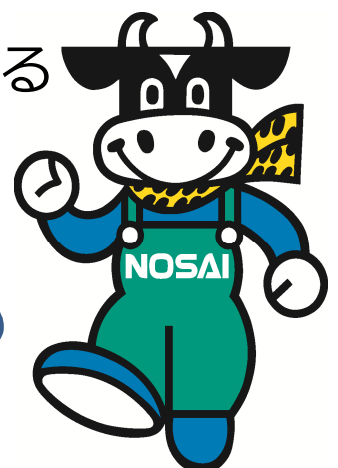
マイカー線のゆるみや受け材がしっかり留まっていない場合も被覆のバタツキにつながります。

・扉周辺にゆがみやガタツキはありませんか？

意外と多い扉の吹き飛び被害。吹き飛んだ扉部分から施設内に流れ込む風量が一気に増大し、屋根面の被覆が内側から爆発するように破れることもあります。

事前の小さな注意で被害を抑える
ことが可能です。

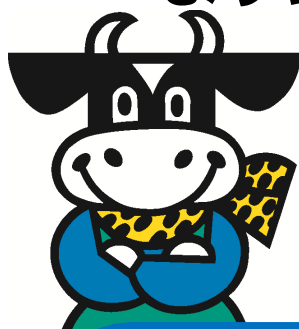
それでも、被害がおきたら…？



もしハウスに被害が起きたら…



まずは  安心のネットワーク **NOSAI東京** にご連絡ください。



その際、わかる範囲で構いませんので、以下のことをお伝えください。

- ・ **被害の内容**

(風害、水害、雪害、ひょう害など)

- ・ **被害が発生した日付**

(○月○日○○時ごろ)

- ・ **被害を受けた施設の棟番号、設置場所**

- ・ **被害の状況**

(風で被覆物が破れた、雷で制御盤が動かない、など)

注意！

附帯施設(巻き上げや配電盤などの本体骨組、被覆材以外)に被害があった場合は修理見積書等が必要になります。

被害の報告が遅れた場合や被害状況を組合職員が確認できない場合(現地調査を行う前に修繕した場合など)は、

共済金が支払われないことがありますのでご注意ください。